

2016年後半の見通し



COMMODITY

売りたい気分を払拭したい 長期的には三角保合を突破

現在の東京金は通常で考えたら、下げてもおかしくない環境だ。円高を睨むと、期先は4,400円プラスマインス20〜30円くらいで押しを完了して、もう一回上昇する可能性があるのかな、という気がする。

東京金の内部要因が
イメージを持っている人が多いはずだ。しかし、ここから1〜3カ月くらいはそういうシーンは無いと思う。目先は4,400円前後で買いたい、4,500円から4,600円くらいまで来たら売りで臨むのが得策だろう。ニューヨーク金は確

GOLD 金



岡地(株) 東京支店 投資相談部 チーフアドバイザー 千葉 純平氏

気になるところだが、市場では軒並み売っている。売られ過ぎ感の解消が必須で、冒頭で述べたように、もうひと相場あるのではないか。為替の流れと内部要因を考えると、安易に値頃で売りを仕掛けたくない。

多分、株式などの調整もあり、再びEU(欧州連合)の問題が出て、円高の流れになり、全商品が下がるというイ

りしている。3年間下げ続けた相場で、新しい波が起こっているかもしれない。月足ベースで大きな三角保合になっているが、2006年、2011、2012年の高値を結んだところで交差している。ここを上抜いたら期先は1,750ドルまで一気に上がる可能性もある。過去3年の相場、値頃に囚われるのは危険だ。

白金は金より高いのが常識 金の4,500円超は売り

白金はVW(フォルクスワーゲン)シヨックや南ア(南アフリカ共和国)ランド安、英国の国民投票によるEU(欧州連合)離脱などによるポンド安によって、金に比べて1グラム当たり1,000円以上も割安になった。

して、大きな失敗を招く場合もあると思うが、今回の白金価格の下落は例外であり、再び、白金の価格が金を上回ると考えている。白金は南ア鉱山で約2年ぶりに鉱山労働者の賃金交渉が始まったが、労使交渉は難航しており、先行きの供給

METAL 貴金属



岡地(株) 東京支店 投資相談部 地代 英生氏

英国のEU離脱の国民投票時が下げのピークで、それ以降、白金は少しずつ買われ始めて、両者のサヤは650円前後まで縮小している。特に、英国でメイ首相が就任してからは、白金は堅調な動きが続いている。

私は、長く相場を見ている固定観念からか、白金の価格は金よりも高いと思っている。こういった考えは時と

不安を想起させ、白金相場の先高感が強まっている。従って、白金は押目買いと考えており、50〜100円の押目を拾いたい。一方、金は為替が1ドル=100〜110円の間であれば、4,200円〜4,500円の動きで安定している。ただし、4,500円を超えるような価格は、売りから入ってみるのも良かろう。

先高期待で当業者は買い越し 南アのスト発生懸念が強材料

英国のEU(欧州連合)離脱問題は取り敢えず一巡して、欧州の経済不安は一旦、下火になった格好だ。今年6月までの主要国の自動車販売台数は増加して、白金触媒の需要増加が期待出来る状況にある。具体的に、6月は米国で前

しになっており、これも先高期待が高まっている証拠といえよう。加えて、世界最大の白金供給国の南ア(南アフリカ共和国)では白金の生産量が減少する可能性が高まっている。具体的に、南アで鉱山労働者の賃金交渉が本格的に始まった

PLATINUM 白金



岡地(株) 東京支店 投資相談部 佐藤 光秀氏

年同月比2.5%増の151万3,3397台、上半期(1〜6月)の累計で前年同期比の864万5,016台になった。中国も前年同期比では増勢を維持している。

東京白金市場のカテゴリ別取組高表を見ると、8月2日の当業者のポジションは6,599枚売りの9,925枚買い、差し引き3,326枚の買い越

が、労働組合側は当初47%もの大幅な賃上げを迫ったという。一方、鉱山側の経営環境は厳しく、鉱山会社は軒並み減益を強いられており、労働組合側との安易な妥協は許されないと、白金供給を減少させるストライキの可能性が出てきた。ストライキにより今回はどこまで値位置を上げることが出来るか楽しみだ。